

雲竜溪谷

2020 年 2 月 8 日 (土)

Report by 堀

去年は暖冬で pass した雲竜溪谷ですが、今年も暖かい日が続き、実施するかどうか、かなり迷いました。熊本さんからはほかの雪山を検討してはどうかとの助言をいただきました。しかし、立春を過ぎてから少しは冬らしい日が続き、計画通り実施することにしました。特に直前数日は今冬最低気温を記録し、現地は零下 10℃以下ということもあって、そこそこ凍結しているのでは・・・と若干の期待をもって当日となりました。

以前は浅草から東武日光までの急行があったのですが、一去年のダイヤ改正で廃止になり、特急を利用するか、いやなら区間急行を乗継するしかありません。私は勿論、「区間急行乗継」です。乗継のため南栗橋でホームに降りると熊本さんが 8:00 ちょうどの東武日光行区間急行の先頭に並んでいました。今日の参加者は 4 名。あとは中島さんと池戸さん。2 人は特急「けごん 5 号」の予定です。

入線してきた車両は昭和 63 年富士車両製造の相当な年代物。窓ガラスも薄汚れていて、車窓の風景を撮っても汚れに焦点が合ってしまい困りました。



青空で、風車もまわらないほど風が無い。絶好の日和にもかかわらず、熱気球のメッカ、渡良瀬遊水地辺りに一つも飛んでいないのは不思議です。



熱気球は見えないけれど、男体山が大きく見えるようになってきました。



9:16 東武日光駅に到着。予約したタクシーにザックを積み終わった頃、9:20 着の特急で池戸さん、中島さんが到着。

タクシーで林道入口まで。林道が狭く、「路肩に駐車している車で U ターンが出来ない」と手前の資材置き場で下されそうになったが、貸切料金（¥3,050）を払っているので「もう少し頑張れ！」と言ったら案外素直に入口まで行ってくれた。



9:40 林道入り口をスタート！林道入り口辺りは雪が無い。



歩き始めると、そこそこに雪が残っている。雪のあるところでは滑るし、雪のないところではアイゼンでは歩きにくい。熊本さんは軽アイゼンを付けて軽快に歩いている。



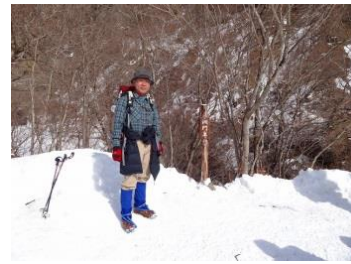
10:35 稲荷川展望台に到着。



11:05 洞門岩

風雪に晒され、標識の文字がこの数年で随分不鮮明になっている。

(参考) 2015 年



ここでアイゼンを着ける。
熊本さんも軽アイゼンから前爪付きのアイゼンに交換。



洞門岩から林道を外れ、稻荷川の流れに沿って数回の渡渉を交えて遡行するのが例年のことである。

今年は水量が多く、また砂防ダム工事の影響もあってか状況が変わっており、渡渉は難しそうである。

だいぶ遠回りにはなるが、やむを得ず、林道に戻ってこれを暫く登ることにする。



林道を 20 分ほど登ったところで雲竜溪谷入口へのトラバース道に入る。

今年はこの道を通る人が多いと見えて踏み跡はしっかりしている。



12:20 雲竜溪谷入口の展望広場で昼食とする。
熊本さん持参のワインと暖かいスープをご馳走になる。



中島さんはカップヌードル



堀は例年通り駅の売店で買ってきた「笹むすび」



ここにザックをデポして全員ヘルメットを装着して雪に埋もれた階段を下って雲竜溪谷に向かう。



ここ数日は気温が下がったものの、氷柱は薄く岩肌が透けて見える。



なんとか氷瀑気分は味わえる。





通称「友知らず」

ここから先は足場が悪く水量も多いので落水のリスクがあるので、残念ながら今年はこちらで撤退することにする。

ここから先、燕岩に懸かる巨大な氷柱や雲竜瀑が見られないのは残念至極！



集合写真（合成）でも撮って引き返しとしますか・・・



雪に埋もれた階段を登って13:40 ザックをデポした広場に戻る。



ヘルメットをとって改めて
記念撮影。

ここから、来た道を林道まで
トラバース～洞門岩～稲荷
川見晴台 15:00 着

アイゼンを外し、かろうじて
docomo 携帯が通じるので、
林道入り口に 15:50 に来てく
れるようにタクシーを呼ぶ。



林道入り口には 15:40 着。タ
クシーはもう待っていてく
れた。

「やしおの湯」へ行ってもら
う。¥4,000



16:05 「やしおの湯」 着

帰りのバスを確認して 17:20
まで入浴休憩。

アルカリ系のヌルっとした
泉質の温泉です。



入浴後、バスで東武日光駅へ。

東武日光駅 17:50 着

満月が出ている。

18:11 発の「華厳 46 号」発車までの間、売店で車内宴会用のアルコールを調達。



中島さんの満足そうな笑顔。
窓には酒瓶の列。



堀は 19:52 北千住で下車、あとの 3 人は浅草（20:05）まで。今日は浅草の神谷バーに立ち寄ることも無く、無事に帰途に就いたとのこと。

雲竜滝の氷瀑を見ることが出来ず途中撤退となったのは残念でしたが、まずまず結氷していてこの時季らしい光景が見られた。好天で風も無くやはり来てよかった。お疲れ様でした。